

平成24年度

大阪市立大学大学院法学研究科法曹養成専攻入学者選抜試験

## 【2年短縮型】

# 法律科目試験問題：商法（配点：100点）

### 注意事項

- 1 問題冊子は、監督者が「解答始め」の指示をするまで開かないこと。
- 2 問題冊子は、全部で2ページである。  
解答用紙は、全部で8ページである。  
問題冊子、解答用紙に脱落のあった場合には申し出ること。
- 3 解答用紙の上部所定欄に、1ページには氏名、受験番号、試験の科目名を、2ページ以降は各ページに氏名を忘れずに記入すること。
- 4 解答は、第1問は1ページから、第2問は5ページから記入すること。
- 5 解答以外のことを書いたときは無効とすることがある。
- 6 机上に各自の「受験票」と「法科大学院全国統一適性試験受験票」を出しておくこと。
- 7 解答用紙は、8ページを超えて使用することはできない。

第1問

A社は百貨店形態で小売業を営む株式会社であり、取締役会設置会社である。A社はその株式を上場している。A社では、近年株主総会において議決権を行使する株主が少なくなり、取締役選任議案の成立が危ぶまれるという問題が発生していた。そこでA社の代表取締役Bは、この問題の対策として、A社の株主総会で議決権を行使した株主（書面投票・電子投票をしたものを含む）に対し、株主1人当たり500円のA社で使える商品券を1枚無償で配布するという案（以下「商品券無償配布案」という）を作成し、A社の取締役会（以下「本取締役会」という）の承認を得て、これを実行した。A社の取締役Cは、本取締役会において、商品券無償配布案に対し異議を唱えずに賛成した。この事案に含まれる会社法上の問題について論じなさい。

(配点：60点)

(商法)

第2問

会社法において、監査役設置会社における監査役の報酬、および、委員会設置会社における監査委員の報酬は、どのように規制されているか、両者の相違点分かるように留意して説明しなさい。

(配点：40点)